

## 教育大学境先生の出前授業①～6年生（6月6日）

本校の特色の一つである大学との連携による境先生の出前授業を実施しました。

単発の、イベント的な「出前授業」ではなく、6年生「土地のつくりと変化」の単元に、長期にわたり関わってくださいます。

「石の博士になろう」という境先生のお話から、様々な石を仲間わけする活動を行っていました。「砂っぽいから砂グループだ」「石の中に石が入っているから、『石石』グループ!」「黒っぽいから黒グループ」「ゴツゴツグループ」「ツルツルグループ」「軽い・重い」「キラキラした粒が…」などなど、言葉が豊かに飛び交います。

「堆積岩」「火成岩」などという言葉を知っている大人から見ると、「この活動に意味があるのだろうか?」と疑問に感じるかもしれません。しかし、「君たちの分け方はとってもいい」「全部正解なんだ」「これは、科学的な分け方につながっているよ」などと境先生に声をかけられると、子供たちはとてもうれしそうに一層はりきって、「より詳しく」「より細かく」石を観察しようとする様子が見られるようになりました。

「堆積岩の特徴は〇〇です」「火成岩の特徴は△△です」…と伝えれば5分で終わる話かもしれませんが、そのような知識はきっとすぐに忘れてしまうでしょう。

「色」「形」「手触り」…このようなものの「見方」…実は、3年生の植物の学習のころから、理科では繰り返し、繰り返し使ってきています。そのような子供たちの力を信頼し、「まずやってみる」「ゆだねる」ことで子供たちは力を発揮し、先人たちの学びの跡を自ら辿り、学んでいくことができるのだと改めて感じました。

境先生の授業の様子、今後も紹介していきます。



## 「子供たちと共に学ぶ」授業づくりを目指して②

境先生の授業に負けずに、「校内授業研」が続いています。

写真は体育の授業です。短距離走、「バトンパス」でスピードを落とさず、協力して既定の秒数以下でゴールすることを目指して活動していました。

「バトンの渡し方は…」「2人の走る距離の配分は…」「バトンをもらう人が後ろを向いては遅くなる」「バトンをもらった後の足の踏み込み方を強くすると…」などなど、たくさんの考えが出されている。

ました。速くゴールできると、「やったー！」とペアで喜ぶ姿、惜しくも間に合わないと、「ごめん！も  
っとこうしよう！」と相談する姿、前向きに学ぶ様子が素敵でした。



## 山本生花店にお出かけ～2年生

「白樺花いっぱい運動」でお世話になっている白樺地域の「山本生花店」に、野菜の苗をもらいに出か  
けました。また一つ、白樺地域との関わりが増えましたね。

